

## 東通原子力発電所に関する要望書を提出



(左)東北電力㈱ 樋口取締役社長 社長執行役員



(左)東京電力HD㈱小早川代表執行役社長

11月25日、東北電力㈱（樋口 康二郎 取締役社長 社長執行役員）、東京電力ホールディングス㈱（小早川 智明 代表執行役社長）に対し、畑中 村長、川端 村議会議員、田村 村議会東通原発特別委員会委員長より、東通原子力発電所に関する要望書を提出しました。

東通原子力発電所は、平成23年3月に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故以降、東北電力1号機は停止し、東京電力1号機は工事中断し、既に13年以上が経過しています。

このような状況を踏まえ、両社に対し、東北電力1号機の早期の再稼働、東京電力1号機の早期の工事再開、原子力発電所の安全確保と信頼確保、原子力災害対策の充実・強化、立地地域との共生・共創について要望しました。

村では、原子力との共生を目指す「東通モデル」の推進へ向けて、安全性の確保を前提として、早期の再稼働と工事再開の実現のため、国、県、事業者との対話を深め、村議会と連携し、幅広い要望活動を展開していきます。

## 令和6年度地方教育行政功労者表彰 及び 令和6年度青森県褒賞受賞

東通村教育委員会教育長 奥島 涼子氏が、10月に文部科学大臣より、令和6年度地方教育行政功労者表彰を受賞されました。

また、11月22日、ホテル青森にて青森県知事より、令和6年度青森県褒賞を授与されました。

奥島教育長は教育長就任後、長年にわたり村の教育行政の充実発展や、環境整備に貢献した功績が認められ、今回の受賞となりました。

奥島教育長のご功績に対し深く敬意を表しますとともに、ご尽力に改めて感謝し、ご栄誉を心からお慶び申し上げます。



受賞された奥島教育長

## 株式会社ユーラスエネルギーホールディングス カーブミラー寄附贈呈式

岩屋地区に会社を構える、株式会社ユーラスエネルギーホールディングス（諏訪部 哲也 代表取締役社長）から、村道岩屋学校線と県道むつ尻屋崎線の交差点へのカーブミラー1基設置費用として、56万1千円を寄附いただきました。

この交差点は、付近に避難施設があり、大型車両や尻屋崎への観光客の通行が多く、事故が危惧されていました。今年の岩屋円卓会議で、カーブミラー1基の設置について要望があり、今般、設置工事が完了したことから、寄附贈呈式を行いました。

寄附申出のご厚意に感謝申し上げますとともに、今後も健全な村道運営に役立ててまいります。



(右)諏訪部 代表取締役社長と畑中村長